

「できたらすごい」を考える

● 考えるテーマ・課題

農作物を効率的に生産し、無駄なく届けるしくみを考える



「したいこと」を実現するアイデア（製品・サービス）を考える

■ ドローン・ビッグデータ・AI
農作物の生育状況・土壌の様子を観察・把握し、最適なタイミングや量などを予測してアドバイスする

「できたらすごい」の実現のために活用するIT

■ IoT
(プラットフォーム)
農場・加工場や輸送の「今」を見える化・共有する

今までにない
「できたらすごい」

嬉しいことを増やすには…

農作物の生育状況がわかる

収穫時期と量が予測できる

現場に行かなくても、農作物の生育状況がわかる

つながる農業
●かかる人が、収穫時期や量などのデータを共有する

見える農業
●生育状況をデータ化し、必要な手立てを予測し見える化する

農作物の生育が予測できる

誰でも適切に栽培管理するためのノウハウが提供される

収穫時期と量が予測でき、その状況を加工工場などと共有できる

嫌なことを減らすには…



つながる農業
見える農業

「したいこと」を実現する
アイデアを考えよう



製品を使う人・サービスを受ける人が「したいこと」を具体的に考える

嬉しいこと
(希望・得)

水や肥料の無駄を省ける

的確な栽培管理で収穫量を増やす

美味しいものを美味しいときに届けられる

高齢になっても農業を続けられる

製品を使う人
サービスを受ける人

農作物生産に関わる人

「したいこと」
やらなければ
ならないこと

農作物を効率的に生産し、
無駄なく届ける

自然を相手にしているため、収穫など
様々な準備の予定が立てづらい

水や肥料の投入する量やタイミングなど、
栽培管理が経験と勘に依存していて継承しづらい

収穫時期と量がわからず、余剰の廃棄や工場の
無駄な稼働など、さまざまなロスがある



嫌なこと
(不満・リスク・障害)

● アイデアをふりかえろう

このアイデアは、かかる人や社会に、どんな「価値」を創造しているだろう？

- 資源・食品ロス、排出CO2の削減に貢献

つながるSDGs

- ・つくる責任使う責任
- ・気候変動に具体的な対策を
- ・

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS